

2016/4/21

## 「施設コンサート」

4月20日は施設コンサートの日でした。

みわ苑とにながわ敬寿苑・秋乃家で、「春のコンサート」

内容は5月11日の市民ホール ミニコンサートとほぼ同じものにしました。

みわ苑さんは、いつもならそのあと、三輪病院でもコンサートをしていたのですが、この日は病院側の都合により、三輪病院でのコンサートはしないことになりました。

そのため、みわ苑でのコンサートのあと、いったん生協へもどって練習をして、昼食後、にながわ敬寿苑へむかいました。

諸事情により、参加者は、午前の部のみわ苑は13名、午後の部のにながわ敬寿苑は11名になってしまいました。

それでも、各自が意識をもって臨んだからか、会場のみなさんに助けられたからか、声もよく出ていたし、表情もよく、いいコンサートになったと思います。

午前9時30分、みわ苑集合

私は少しはやめに来て、機材のセッティングをしました。早めに来たメンバーが、率先してお手伝いしてくださったので、短時間で準備できました。(機材を少なくする工夫もしました)

そのおかげで、本番前の声出しが余裕をもってできました。「愛の花を咲かせよう」を歌うと、声がよく出る・・・そんな気がします。

- ・遠くの人に声が届くように歌いましょう
- ・言葉をはっきり(特に単語のはじめの音はしっかり)歌いましょう
- ・歌の意味、内容、光景を心に描いて、表情豊かに歌いましょう
- ・練習の時より、隣の人声が聞こえにくいかもしれませんが、自信をもって歌いましょう
- ・自らが楽しんで歌うことが大切

など、いつも言っていることですが、心に刻んで歌いましょう。

朝がはやい「みわ苑」でのコンサートは、いつもなら、声が十分出ないことが多かったのですが、今回はとても声が出ていました。

Sさんの司会もとても心に響くものでした。聞いてくださった方々がみんな喜んでおられるのが伝わってきました。

あとから、婦長さんが「とても素晴らしかった。心和む内容で、クランツカーネーションのみなさんの温かさがあふれていた・・・」との嬉しいお言葉を姉が伝えてくれました。

生協へ移動して練習。

ソプラノが上がりきらないところが、時々あります。

にわの千草の「ち」の音など、い行の音は特に気をつけましょう。

紙飛行機が飛びきらないのは、まっすぐ飛ばすから。少し上向きにすると、遠くに飛びます。

「365日の紙飛行機」の歌の最後のほうで、紙飛行機(メッセージつき)をお客さんにむけて飛ばす演出も好評でした。プラスαの思いやり、大切にしましょうね。

声も自分で思うより高めを意識しましょう。天井をつくらず、頭のとっぺんから声がぬけるように歌うと、心地よい響きになりますよ。

午後は、にながわ敬寿苑・秋乃家さんでのコンサート

人数は減りましたが、練習の成果もあってか、午前のコンサート同様、とてもよく歌えました。聞いてくださっている方々が、喜んでおられるのが感じられて、胸が熱くなりました。

クランツのみなさん、お疲れさまでした。

みわ苑のみなさん、にながわ敬寿苑のみなさん、ありがとうございました。

これを励みに、市民ホールコンサートも、これからもがんばりましょう。

今回のコンサートのプログラム

- ・愛の花を咲かせよう
- ・春の日の花と輝く
- ・庭の千草
- ・エーデルワイス
- ・花の街
- ・365日の紙飛行機
- ・この広い野原いっぱい
- ・ねがい
- ・ふるさと



にながわ敬寿苑・秋乃家さんにて